

アンケート配布先

■当アンケートは下記の市役所・町村役場等にも配布しております。
ぜひご利用ください。

■市役所・町村役場

- 山梨県：北杜市建設部道路河川課、各支所（明野・須玉・高根・長坂・大泉・小淵沢・白州・武川）
- 長野県：小諸市建設部建設課、佐久市建設部高速交通課、佐久穂町環境建設課
小海町産業建設課、南牧村産業建設課、北相木村経済建設課、南相木村振興課
川上村産業建設課

■道の駅

- 道の駅にらさき
- 道の駅南きよさと
- 道の駅こぶちざわ
- 道の駅はくしゅう
- 道の駅ほっとば〜く浅科
- 上田道と川の駅
- 道の駅雷電くるみの里
- 道の駅みまき

■国土交通省 関東地方整備局

- 甲府河川国道事務所
- 長野国道事務所

■県

- 山梨県県土整備部道路整備課
- 山梨県中北建設事務所峡北支所
- 長野県建設部道路建設課
- 長野県佐久建設事務所

■高速道路 SA・PA

- 双葉SA
（中央自動車道）
- ハヶ岳PA
（中央自動車道）
- 東部湯の丸SA
（上信越自動車道）
- 佐久平PA
（上信越自動車道）

中部横断自動車道

（長坂～八千穂）

第1回 アンケート

このアンケートは、**中部横断自動車道（長坂～八千穂）**の「**今後の整備方針**」について、国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所、長野国道事務所より、みなさまにご意見をお伺いするものです。

アンケートは2回行います。

- **第1回アンケート**では、「周辺地域の課題」、「課題を解決するための目標」について、みなさまの実感をお聞きするとともに、今後比較検討する複数の「対策案」の妥当性についてお聞きします。
- **第2回アンケート**では、周辺地域の課題を解決するためにふさわしい対策案の評価についてお聞きする予定です。

キリトリ

郵便はがき

料金受取人払

3 8 0 8 7 9 0

長野支店
承認
581

長野県長野市鶴賀字中堰145

中部横断自動車道（長坂～八千穂）

計画段階評価 事務局 行

差出有効期限
平成23年4月28日
（切手不要）



下記□にチェックおよびご記入をお願いします。

○すべての方

年齢	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上	性別	☐ 男 ☐ 女
職業	☐ 会社員 ☐ 公務員 ☐ パート・アルバイト ☐ 農業 ☐ 自営業 ☐ 主婦 ☐ 学生 ☐ 無職 ☐ その他		
住所	[] 都・道・府・県 [] 市・町・村		

○北杜市及び南佐久地域にお住まいの方（3頁の周辺地域参照）

通常の主な移動手段	☐ 自動車 ☐ 鉄道 ☐ バス ☐ 自転車・徒歩
-----------	---

○北杜市及び南佐久地域にお住まいでない方（3頁の周辺地域参照）

この地域を訪れた目的	☐ 観光 ☐ 仕事 ☐ その他（ ）
------------	--

- お答え頂いた意見および個人情報、本アンケート以外の目的で使用することは一切いたしません。
- 皆様の貴重な意見のとりまとめに必要となりますので、記入漏れがないようお願いします。

インターネットによる回答

- 「中部横断自動車道（長坂～八千穂）計画段階評価」について、インターネットホームページを開設しました。
- 計画段階評価の概要、委員会資料などがご覧いただけると共に、このアンケートをパソコン上で直接回答していただくことが可能です。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/keikaku/>

このアンケートへのお問い合わせ先

中部横断自動車道（長坂～八千穂） 計画段階評価 事務局

国土交通省 関東地方整備局
■甲府河川国道事務所 計画課
TEL 055-254-6571

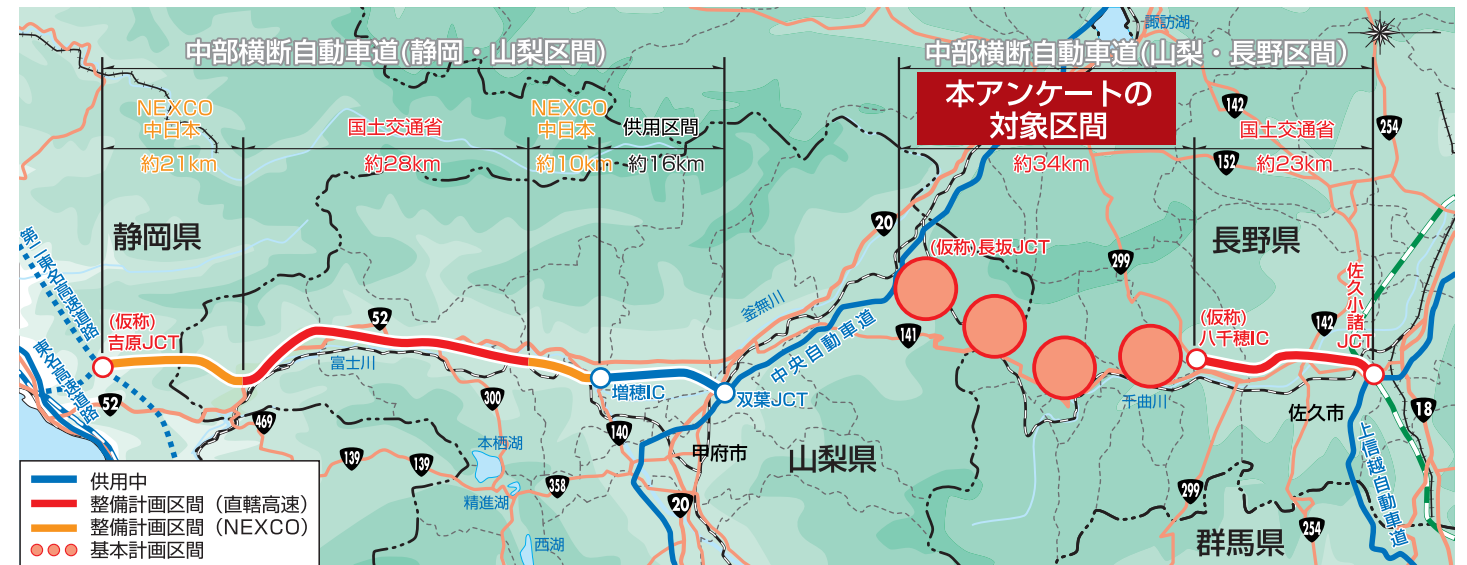
■長野国道事務所 中部横断自動車道推進室
TEL 026-264-7081

中部横断自動車道

■中部横断自動車道は、総延長約132kmの高速道路です。

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から長野県佐久市に至る高速道路です。

現在、山梨県の増穂IC～双葉JCT間が開通しており、（仮称）吉原JCT～増穂ICおよび（仮称）八千穂IC～佐久小諸JCT区間は、国土交通省およびNEXCO中日本が整備を進めています。



■本アンケートの対象となるのは、長坂～八千穂間です。

このアンケートは、「（仮称）長坂JCT（山梨県北杜市）～（仮称）八千穂IC（長野県南佐久郡佐久穂町）」の整備方針について、ご意見を伺うものです。

アンケートの目的

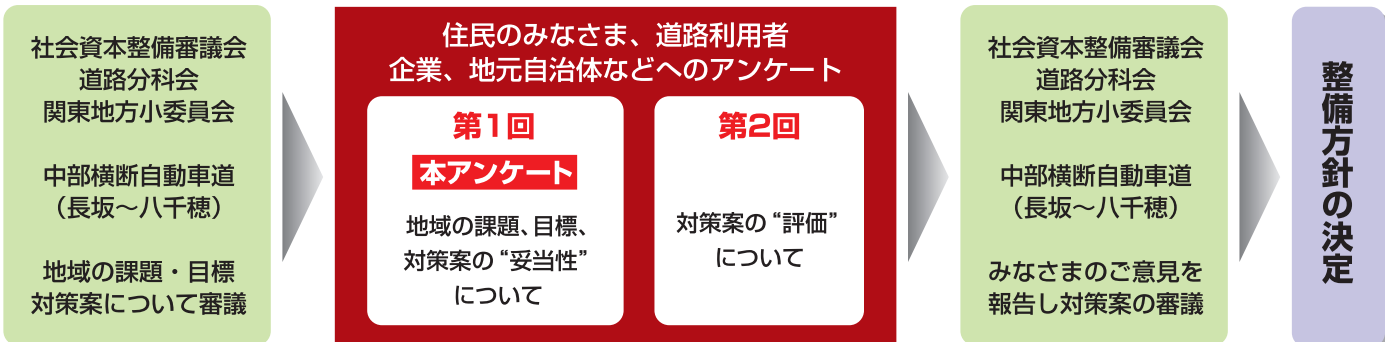
■「計画段階評価」で、みなさまのご意見を伺い委員会に報告します。

「計画段階評価」とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら、計画段階において事業評価を行う新しい取り組みです。

2010年12月から行われている「社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会」では、中部横断自動車道（長坂～八千穂）を対象として、この「計画段階評価」の審議が行われています。

本アンケートは、「計画段階評価」の手順のなかで行われるものであり、「周辺地域にお住まいの方、道路利用者、企業、地元自治体」などのみなさまから頂いたご意見は、事務局でとりまとめ委員会に報告する予定です。

■計画段階評価の進め方



※アンケート結果に応じ、必要な場合には、第1回アンケートと第2回アンケートの間にも委員会を行います。

1. 周辺地域と道路の状況

周辺地域

- 山梨県側は北杜市、長野県側は南佐久地域（佐久穂町、小海町、南牧村、北相木村、南相木村、川上村）を周辺地域としました。

国道141号の状況

- 地域の幹線道路である国道141号には、「急坂」、「急カーブ」、「豪雨時の通行止め規制」などの区間があります。
- このことから、安全性や走行性に課題があると考えられます。



2. 周辺地域の課題

■国道141号の状況を踏まえ、周辺地域には4つの課題があると考えています。

産業物流の課題



- 地域の農産物（高原レタス）などを消費地まで運ぶのに時間がかかるため、「産業物流の速達性に課題がある」と考えられます。

救急医療の課題



- 救急医療施設までの救急搬送に時間がかかるため、「救急医療の速達性に課題がある」と考えられます。

観光地連携の課題



- 軽井沢や清里・小淵沢など、観光地間の移動に時間がかかるため、「主要な観光地間の連携が不足している」と考えられます。

日常生活の課題



- 近郊都市まで買い物や通勤に時間がかかるため、「日常生活の移動性に課題がある」と考えられます。

3. 課題を解決するための目標

■周辺地域の課題を解決するための目標は、以下の5つであると考えています。

高速道路までの移動時間短縮

高速道路まで地域の生產品の輸送時間を短縮することが必要です。

救急医療施設への移動時間短縮

救急医療施設まで救急車の患者搬送時間を短縮することが必要です。

主要な観光地間の連携向上

主要な観光地間の移動時間を短縮することが必要です。

地域の生活交通の円滑化

近郊都市まで買い物などの移動時間を短縮することが必要です。

災害時の代替路確保

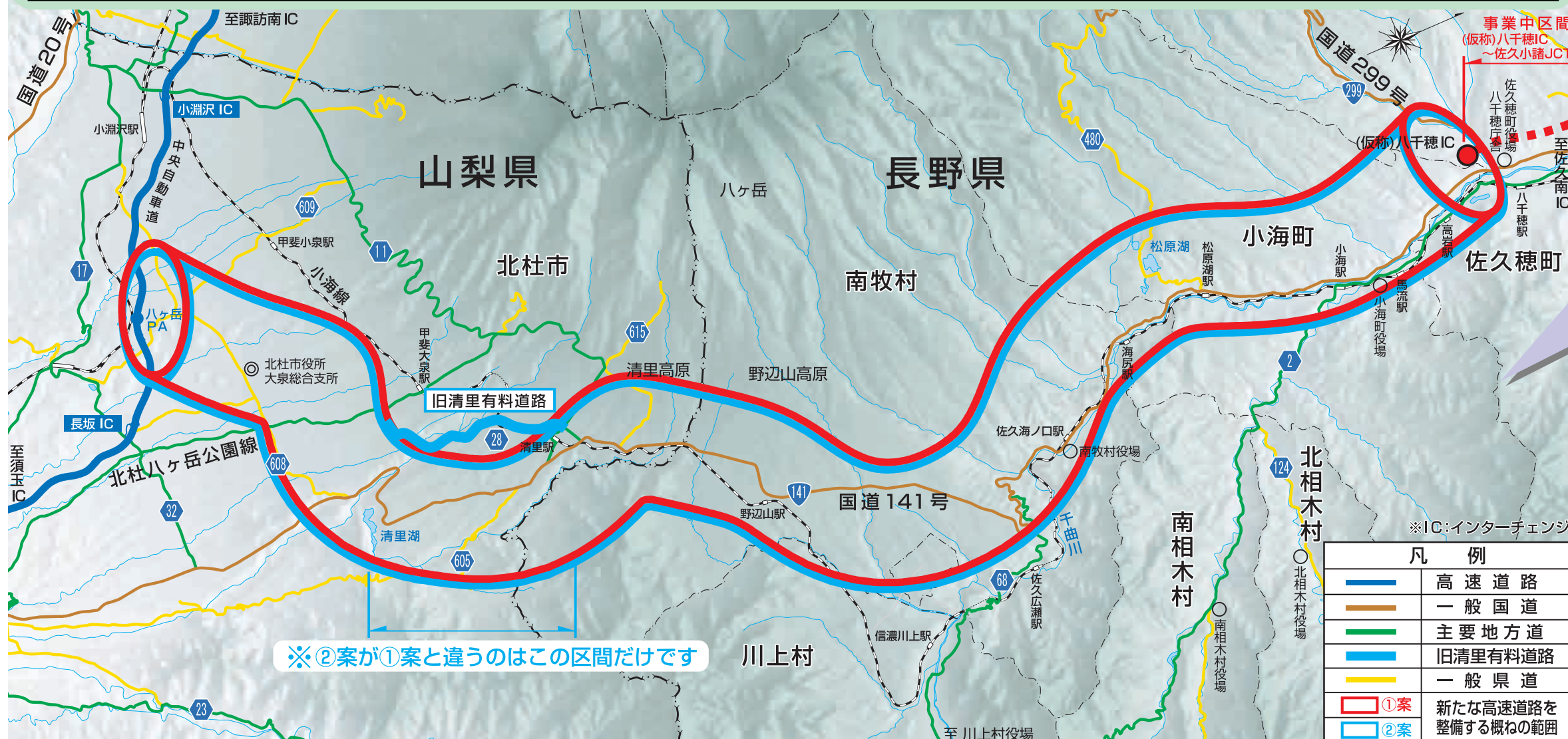
地震などの災害時に地域の交通機能を確保する代替路が必要です。

4. 対策の比較案

■周辺地域の課題を解決するため、新たな高速道路（または高速道路に準じた走行のできる道路）の整備が有効であると考えています。

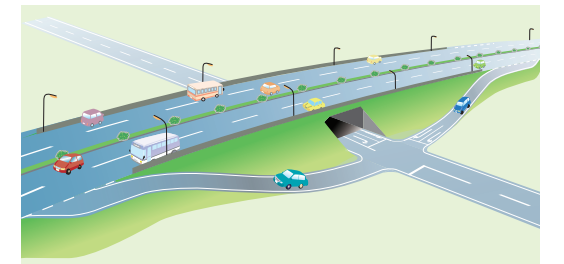
図の赤い線と青い線で示した幅が、高速道路を整備する対策案の概ねの位置です。対策案として、2つの比較案を考えています。

	【①案】全区間で新たに道路を整備する案	【②案】旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案
内容	全ての区間を新たに4車線で整備します。	下図の※で示した区間は、旧清里有料道路を片側2車線として利用し新たに整備する道路は2車線とします。（※以外の区間は①案と同様）
特徴	【走行性】全区間で、高速走行（設計速度80km/h）が可能です。 【自然環境への影響】道路をつくる範囲が、②案より大きくなります。 【経済性】建設費用が、②案よりも高くなります。	【走行性】旧清里有料道路を利用する区間は、①案に比べ高速走行性に劣ります（設計速度50km/h）。 【自然環境への影響】道路をつくる範囲が、①案より小さくなります。 【経済性】建設費用が、①案よりも安くなります。



高速道路の整備

- 設計速度80km/hの高速道路を新たに整備します。
- 一般道とはインターチェンジにより接続します。



旧清里有料道路の有効利用

- 旧清里有料道路は、沿道からの乗り入れが少なく、良好な走行性が確保できる道路です。
- この道路を高速道路の一部区間として有効利用できると考えます。



※「旧清里有料道路」とは、「県道北杜ハケ岳公園線」のうち、H17年6月6日まで有料道路であった区間です。

※設計速度とは、他の車の影響が少ない状態で、車が安全かつ快適に走行できる速度のことです。

5. 期待される整備効果

- 前ページの対策により、①案、②案ともほぼ同様な整備効果が期待されます。
- ただし、②案においては、良好な走行性が確保できる既存の道路（旧清里有料道路）を一部区間で利用する案となっています。

地域の産業の活性化



- 産業の競争力が高まり、農業などの産業活性化が期待されます。

地域医療への支援



- 医療のサービスレベルが向上し、安心して暮らせる地域づくりが期待されます。

観光産業の活性化



- 軽井沢や清里・小淵沢など主要な観光地の連携により、観光産業の活性化が期待されます。

日常生活の利便性が向上



- 買い物、通勤、レクリエーション時の利便性が向上し、日常生活が便利になります。

地域の安全性が向上



- 災害時にバックアップする道路が増え、復旧活動も容易となり、安全な地域づくりが期待されます。
- 国道141号の交通が高速道路に移ることで、交通事故の減少が期待されます。

もっと広域の整備効果も…



- 中部横断自動車道が全線つながると、他の高速道路と連絡して、地域間での結びつきが強まります。
- さまざまな産業発展の効果が期待できる他、災害に強い国土づくりを支援します。

アンケートにお答え下さい（回答は返信はがきに記入して下さい）

■回答の提出方法

- ・回答は、右下の「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
- ・この他にも、インターネットを使った回答や、市役所・町村役場などで配布されているアンケート用紙をご利用ください。

■〆切

平成23年3月25日までに投函いただきますよう、お願いいたします。

1. 周辺地域の課題について

質問1-1 提示した下記の①～⑤は、周辺地域が抱える課題だと思いませんか？

- ①産業：地域の生產品の自動車輸送に時間がかかる。
- ②医療：救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる。
- ③観光：主要な観光地間の連携が不足している。
- ④生活：買い物、通勤などの日常生活の移動が不便。
- ⑤道路：国道141号の走行性・安全性が不足している。

質問1-2 上記の他に、重要と思われる周辺地域の課題があれば、返信はがきにご記入ください。

2. 課題を解決するための目標について

質問2-1 提示した下記の①～⑤は、周辺地域の課題を解決するための目標だと思いませんか？

- ①高速IC：高速道路インターチェンジの時間短縮
- ②医療：救急医療施設への搬送時間の短縮
- ③観光：主要観光地間の移動時間の短縮
- ④生活：地域の生活交通の移動時間の短縮
- ⑤代替路：災害による道路通行止め時の代替路確保

質問2-2 この目標の他に、考えられる別の目標があれば、返信はがきにご記入ください。

3. 対策の比較案について

質問3 提示した対策案の他に、考えられる対策案がございましたら、返信はがきにご記入ください。

4. その他

質問4 中部横断自動車道について、期待すること、懸念すること（生活・商業・環境など）がございましたら、返信はがきにご記入ください。

ご協力ありがとうございました

キリトリ

アンケート回答用 返信はがき

1. 周辺地域の課題について

質問1-1（該当する箇所に○をご記入下さい）

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①産業					
②医療					
③観光					
④生活					
⑤道路					

質問1-2 他に考えられる周辺地域の重要な課題（自由回答）

2. 課題を解決する目標について

質問2-1（該当する箇所に○をご記入下さい）

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない	わからない
①高速IC					
②医療					
③観光					
④生活					
⑤代替路					

質問2-2 他に考えられる目標（自由回答）

3. 対策の比較案について

質問3 他に考えられる対策案（自由回答）

4. その他

質問4 中部横断自動車道へ期待すること、懸念すること（自由回答）